

# 小型水耕栽培ユニットのご案内

お天気の影響を受けず365日、無農薬で安心、綺麗な野菜を収穫できます

水耕栽培ははじめませんか？

■栽培出来る野菜：「リーフレタス類・ハーブ類」イチゴなども栽培可

■収穫量：リーフレタス例

①発芽ベッド4週間に1回150種、種蒔きし2週間後に栽培パネルに移植します。

②2週間後に144株の半分をベビーリーフとして収穫 72株×10g≒0.72Kg

③更に2週間後に72株のリーフレタスとして収穫 72株×80g≒5.7Kg

稼働初回のみ種蒔きから最終収穫まで56日間で推定6.42Kgを収穫

④その後

4週間毎に推定6.42Kgの収穫サイクル

■栽培経費 月額：約6,500円 フル稼働時

消費電力見込=2,600KW程度×電気料単価@27円/KW 70,200円/年

+水道使用量見込=1.6t程度×水道料単価@500円/t 800円/年

+栽培資材（ウレタンマット・種子・肥料）6,000円/年=77,000円

\*本ユニット以外の水耕システムに関するご相談も承ります

- ①設定周期（例4週間）に1回、全排水・給水（手動・自動切替可）
- ②液体肥料を手動で投入
- ③養液が滞留しないよう循環させ共に空気を送ります。
- ④養光LEDをタイマーでON/OFF制御（最小15分間隔設定可能）
- ⑤水が減ると自動給水
- ⑥水温監視
- ⑦栽培する野菜に適したEC値（肥料濃度）、pH値（酸・アルカリ性）に自動調整します。（オプション装置）
- ⑧CO2濃度を自動調整（オプション装置）CO2ボンベが必要
- ⑨温湿度計測（オプション装置）
- ⑩照度計測（オプション装置）

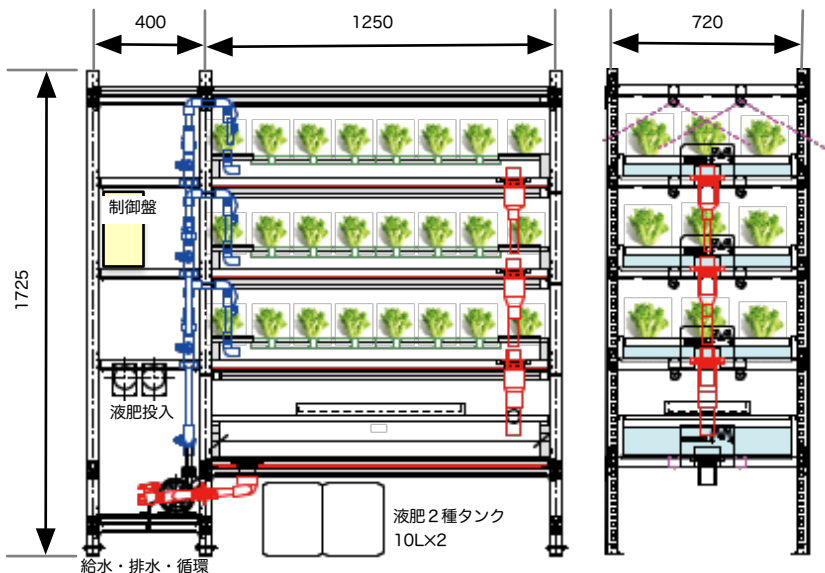
■計測

- ①上限水位:DI1
- ②最下限水位:DI2
- ③自動・手動モード切替SW:DI3  
DI4~DI6予備
- ④EC（肥料濃度）計測・自動投入&水温監視:専用装置
- ⑤pH計測・自動調整:専用装置
- ⑥CO2計測・自動調整：専用装置&温湿度監視：専用装置
- ⑦照度計測：無線子機

■制御

- ①循環ポンプ:Ry1
- ②給水電磁弁:Ry2
- ③排水電磁弁:Ry3
- ④液肥AB投入ポンプ:I2C
- ⑤養光LED25W×6本:Ry4
- ⑥開始表示LED:Ry5
- ⑦CO2制御：Ry6

栽培用計測制御装置WebUI例



栽培棚養液量=27L/段×3段=81L

+タンクベッド養液量=68L

ユニット最大養液量=149L

【開発元】フィールド技術研究所

【販売会社】トカエキリテイ株式会社